

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・売上が前年比で109%、客数も110%と大台に乗って、好調である。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・新型車の販売が好調を維持している。
(北関東)	やや良く なっている	百貨店（店長）	販売量の動き	・11月の天気が安定し気温が下がったこともあって、重衣料中心に動きが見られるようになった。
		百貨店（店長）	単価の動き	・食料品、飲食の単価が上がってきている。寒くなってきたので冬物衣料品の動きが良くなっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・注目しているのは1人当たりの買上点数である。来客数は増えていないが、買上点数の増加により売上が増加している。
		スーパー（経営企画担当）	単価の動き	・来客数は変わらないが、一品単価と買上点数が上がってきている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・建設業及び土建業の客の来店が増えている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きが変わらないのに対し、客単価や買上点数が上がってきているのでやや良くなっている。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・消費税増税に伴う物件購入の駆け込み需要で家電製品も伸びているようである。エアコンがこの時期としては構成比が高く、金額ベースで前年比で150%の伸び、冷蔵庫、洗濯機も同110%で推移している。テレビも前年並みの100%を維持できるようになってきている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・9月以降毎月新型車が発売されているため、受注も順調に推移している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・最近、軽自動車の販売が伸びている。ただし、その分普通車は落ちている。業界内での取り合いやシェア争い、ディーラーの個人業者に対する販売や車検整備の攻勢が厳しく、弱肉強食の戦国時代になっている。後継者不足と相まって業者の中で転業、廃業が出始めている。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・消費税増税前に自動車を購入したいという客が増えてきた。地方では軽自動車の割合が多いが、その中でもグレードの高い、高価格帯の軽自動車を選ぶ客が多くなっている。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・展示会を行うと、来客数は少ないものの、来店した客から確実に何らかの車を買ってもらえるような気がしている。前年と比べても売上が2割ほど上がっている。
		乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・消費税増税に伴う駆け込み需要など、購買意欲が上向きである。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・10、11月と、2か月連続で売上高は前年比2桁の伸びを示している。販売量の動きが顕著であるが、来客数、客単価共に伸びている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・宴会の動きが今一つ良くないが、フリーの客が前年より多くなっており、全体としては微増である。
		都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・どちらかという大きな会社については、宿泊予約が伸びているので、やや良くなっていると感じている。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・トップシーズンということもあり、個人客、団体客、訪日客、教育旅行などでにぎわった。特に、個人旅行の訪日旅客については、堅調に伸びている。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・販売量が他の月と比較して良くなっている。
		通信会社（営業担当）	それ以外	・車などの高額品の売行きが伸びていることから景気は良くなっていると感じ取れるが、販売数量の伸びや来客数などの身近な部分では、まだあまり実感がない。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・11月上旬が連休であったため、前年を上回る来客になっている。
変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・時には売行きの良い日もあるが、月を通してみると売行き不振の日の方がやはり多い。中心部とはいえ、来客のほとんどは近隣の居住者で、果たして中心街と言えるのか疑問である。	

商店街（代表者）	単価の動き	・年末にかけ相次ぐ値上げの連絡、贈答品の仕入価格の上昇があり、来年、再来年の消費税増税を踏まえて税込価格を抑えたため、利益が減少し、張合いがない。
一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月は寒暖の差が大きく、客は買物を決めかねているようである。それでもイベントは天候に恵まれて人出が多かった。それなりの動きはあるのだが、平日の売上につながらない。
一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・住宅関連商材の引き合いはあるが、一般家電の動きは今一つである。年末商戦の仕掛けをしても消費者の購入意欲を引き出すことは厳しい。
一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・リフォーム関係の引き合いは少し出てきているが、消費税絡みの駆け込み需要の動きがそれほど感じられず、客の動きもあまり良くはない。
一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・1日のほとんどが固定客で他の客は来ないような状態である。1人、1人の客単価も、本当に必要な物だけという感じで悪い。
百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・歳暮商戦が始まったが、前年実績並みの推移である。婦人衣料では一部コート等、好調なアイテムも見られるが、トータルではプラスに達していない。消費税増税前の駆け込み需要も見受けられず、3か月前と比べ大きな変化はない。
百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・セール時は前年を上回る売上になってきたが、一方、平常時は前年を下回る結果となっており、月トータルでみると3か月前と比べても大きく変わらない。
スーパー（経営者）	競争相手の様子	・依然として価格競争が続いている。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・前月同様に今月の売上状況も厳しい。来客数も前年より減っている。ただし、今月の平均単価は前年より上がってきている。3か月前と比べても同じ状況である。
スーパー（統括）	販売量の動き	・食料品は、豚肉が10～15%相場高で、農産物も果菜、葉菜類の価格が10%前後上昇しているため、食料品の売上高は伸びている。衣料品は中旬以降の気温の低下に伴い防寒衣料が動き始めたが、前年には届いていない。
スーパー（商品部担当）	単価の動き	・全体的に商品が値上げ傾向にあるため、客に買い控えの傾向がみられ、客単価の上昇につながらない。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・3か月前に競合店が出店し、その影響で来客数、販売量共に落ち込んだままになっている。これから年末商戦に向けて何とか頑張りたいという状況である。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・アベノミクス、消費税増税決定もあり上向きに転じていると思っていたが、客は購入に慎重になっている。どうしても必要な客は購入するが、無理せず現状維持の客のほうが依然として多い。
乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・需要期になってきているのに、日々の来客数が増えていない。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・販売台数の伸び悩みに加え、3か月前と比べて整備関係の売上が全然伸びていないので、変わらないと判断した。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・県内客の動きは良くなっているが、地元客の動きが今月は特に悪い。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・イタリアンレストランだが、ランチの客数は変わらないものの、ディナー客が少ないため、売上は伸びておらず、ほとんど変わらない。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・年末に向かい客の動きが出てきた。
スナック（経営者）	競争相手の様子	・地方の景気はなかなか上向かないので、変わらないと判断した。
観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・観光シーズンもオフを迎え、来客数、売上共に落ち着いている。前年と比べてもほぼ横ばいである。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・当地域では景気は良くなっているとはまだ実感できない。前年度とほとんど変わらないような状況である。少しでも良くなってほしい。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・円安傾向が強まっているため、海外旅行は割高となり需要が減少する可能性がある。
旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・消費税の関係もあり前倒し旅行の受注もあったが、現在では少し落ち着いてしまい、良くない状況である。個人旅行も発生が遅く、なかなか消費が続かない。国内の募集旅行も前年とほぼ同じ状況である。大きな景気回復はみられない。

	タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼の動きも悪いが、深夜の動きが特に悪く、前年同月比で4%の減少であった。
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・新規加入者数は増加せず、数か月低調な傾向が続いている。
	通信会社（局長）	販売量の動き	・パソコンの買換えや、新車、住宅など特定の需要については、やや活性化しつつあることを目にするが、景気全般について上向いていると言える状況には至っていない。
	遊園地（職員）	来客数の動き	・新規施設のオープンや、外国人観光客の増加により、来客数は堅調に推移している。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、売上高にそれほど変化が見られないからである。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・今月はイベントが多く開催され、客が出かける機会が多くなっている。ただし、節約する客が多く、いろいろな美容施術を提案してもあまり受け入れられず、財布のひもは固いと感じている。
	その他サービス [立体駐車場] (従業員)	来客数の動き	・来客数、単価共に横ばいのため、変わらない。
	その他サービス [イベント企画] (職員)	お客様の様子	・イベントの内容にもよるが、来客数が前年を下回る状況もあり、あまり変化がない。
	設計事務所（経営者）	販売量の動き	・民間の受注は少なくなっている。
	住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・消費税増税の影響はまだあり、駆け込みの最終需要が見込まれる可能性がある。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・まだ景気は低迷している。ただし、安い物件について電話等での引き合いが多少増えてきた感じはあるが、成約には至らない。貸店舗、マンション等についても相変わらず空室が目立っている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・今月も大型店がまた開店した。少々離れた場所だが、小売店は全く蚊帳の外である。インターネット販売、テレビ販売、そして大型店のチラシ攻撃で、小売店はなすすべがない。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・3連休に大型スーパーがオープンした。それに伴い、商店街に進入する道路はもとより、近郊の道路が渋滞するほど大混乱した。しかし、商店街には人が歩いていない。人の流れが大きく変わった。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・店舗前の道路が変わり、反対車線から入ることができなくなったため、客数が激変してしまった。飲料、たばこ、酒類、雑誌などの売上が特に悪い。
	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比べて販売量がいきなり低下した。原因はまだ特定できていない。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・行楽などで昼の食事には、多少の動きはあるが、夜のアルコールを伴う食事や宴会は非常に少ない。
	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊及び宴会の動きが下降気味である。景気が良くなったという実感は全然ない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・世間では景気回復という言葉を目にするが、地方のタクシー業界には全く当てはまらない。特に、午後から深夜にかけては2時間に1回程度の営業しかできない。流し営業がなく電話待ちだが、極端に少なくなった。街に歩いている人がいない。
	通信会社（経営者）	単価の動き	・競争激化で値上げができないところにLPガスCP価格の高騰、さらにこの円安、アベノミクス効果で以前より厳しい状況に陥っている。
	設計事務所（所長）	お客様の様子	・3か月前と比べてかなり厳しい。客の様子からも受注の気配が全くない。
	悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き
一般小売店[衣料]（経営者）		来客数の動き	・紅葉が見ごろになっているが、当店の売上には何の影響もなく、景気が悪い。
コンビニ（店長）		競争相手の様子	・ちょうど3か月前に競合店ができたので、3か月前と比べれば随分悪くなっている。
衣料品専門店（販売担当）		来客数の動き	・今月はとにかく客が全然出てこない。9月の中旬以降に消費税増税の話があり、買い控えがおきるとの意識はあったが、極端に人の出が悪い。例年、11月の後半から12月まではセール待ちというようなこともあるが、今年はそれ以上に人が出が悪く、来店した客の話も暗く重い感じで、相当に悪い。
通信会社（経営者）		販売量の動き	・年末に向けて、受注や見積りが重なるはずの時期だが、その動きは皆無である。

企業 動向 関連  (北関東)	良く なっている	その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量 の動き	・メガソーラーの大手電力会社との協議が進んできた ので良くなっている。
	やや良く なっている	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量 の動き	・秋の観光シーズンも終盤に入り、好天に恵まれた結 果、来場者及び売上額は平年を上回った。
		窯業・土石製品 製造業(経営 者)	取引先の様子	・例年の年末商材の受注状況も影響しているが、店頭 販売商品の受注が多少増加している。
		窯業・土石製品 製造業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・多少受注量が増えている。
		一般機械器具製 造業(経営者)	取引先の様子	・自動車関連は引き続き好調であり、消費税増税前の 生産ボリューム増への対応依頼も来ている。
		電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・消費税増税前の駆け込み需要で、10、11、12月の3 か月は通常の月の3～4割受注が増加している。年明 けから多分落ちるだろうという話だが、一般的に2～ 3割増である。ただし、部品がなかなか手に入らない という困った問題も起きている。
		輸送用機械器具 製造業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・大手自動車メーカーの3か月見通しでは、製造関係 の受注、販売量は非常に高水準であり、依然としてフル 操業が続いている。
		建設業(開発担 当)	受注量や販売量 の動き	・公共工事の発注額は、アベノミクス効果で前年比 10%を超える増加となり、大変有難い状況である。た だし、当地域は受注の際、指名、一般競争共に相変わ らず最低価格による5社以上の入札という状況で、く じ引きでの入札のため、安定した受注にはなっていない。 当社の受注は現在、前年比で5%増と、なんとか 利益の確保がうかがえる状況になってきている。
		金融業(調査担 当)	取引先の様子	・非製造業に加え、製造業でも企業の景況感が緩やか に改善し始めている。ただし、業種、企業間の格差も 拡大している。
		金融業(役員)	受注量や販売量 の動き	・建設業及び自動車部品の製造業は受注が増えている が、それ以外の業種はまだ非常に厳しい状況が続いて いる。
司法書士	受注量や販売量 の動き	・前月から引き続き少し良くなっている。		
変わらない	化学工業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・景気回復の兆しが出てきたような話も少しあるが、 鉄工関係はまだまだ悪く、当社製品の動きは鈍い。	
	金属製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・取引先からもこれから良くなるという具体的な話は 全然ないので、不安に思っている。	
	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・良い企業と悪い企業がはっきりしてきた。カメラ、 光学関係の加工は厳しい状態が続いている。当社も駆 けずり回って何とか一時的に仕事を確保しているが、 継続性については厳しい。	
	電気機械器具製 造業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・今まで受注した納期がここにきて集中しており、現 在、一部の製品は受注できないような状況になってい る。	
	輸送用機械器具 製造業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・7月から10月前半まではやや良かったが、10月後半 あたりから取引先の受注量等が若干落ちてきている。	
	輸送業(営業担 当)	取引先の様子	・インターネット通販やホームセンター向けの冬物 で、こたつやこたつ布団などの暖房用品、衣類、作業 服などの防寒商材の荷動きは順調で、前年並みに物量 を確保している。ただし、このところ暖かいため、冬 物が予定よりも伸びずに荷動きが落ち着いている。	
	金融業(経営企 画担当)	取引先の様子	・消費税増税前の駆け込み需要についても思いのほか 影響が出なかった。今後3か月程度で景気が良くなっ たと感じるほどには回復しない。	
	不動産業(管理 担当)	受注価格や販売 価格の動き	・小規模修繕などのスポット作業であっても、見積合 わせや値引き依頼など、管理にかかる費用はできる限 り安くしたいという傾向は続いている。	
	広告代理店(営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・販促広告費は前年と変わらずである。	
	新聞販売店[広 告](総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・今月のチラシ出稿量は、前年比97.5%となってい る。一番景気変動に敏感だと言われる媒体だが、底が 見えない状況が続いている。家電量販店では消費税増 税を前に駆け込み需要を見込んだと思われるチラシの 大型化が目立つが、全体的にはチラシ出稿量の減少化 が更に進んでいる。	

	社会保険労務士	取引先の様子	・観光地に来てあまり土産を買わないなど、客の財布のひもが固いという話をよく聞く。消費関連はいまだに厳しい状況である。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・特段の変化は見られない。
やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先の新機種生産が期待したほど伸びていない。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・展示会に来場してもらえる客の1人当たりの売上単価は上がっているが、来場客が大きく減少している。一部に景気上昇の機運も見られるが、全体としては決して景気は戻っていない。
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・全体的な発注量が伸びず、やや悪くなっていると判断した。
悪くなっている	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・小さな町にある支所を取り巻く環境として、売上の悪い営業先からどんどん店を閉めている。そのため、そのような支所の販売量が落ち、会社全体の販売量に悪い影響が出ている。
雇用 関連  (北関東)	良くなっている	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き ・派遣社員の活用企業側が質の良い人材を求め、既存、競合問わず、複数の派遣会社に一齐にオーダーを出すことが多くなってきており、より採用意欲が高くなっていると感じている。
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き ・先月あたりから求人数が多くなってきている。量は大幅なことないが、あちこちの会社で求人がある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・全体的に求人数が増加しており、採用についての求人側からの問い合わせも増えている。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子 ・建設業関係の求人意欲が高まっている。高卒、学卒求人については、9月の段階で24年度の求人件数を上回っている。地元体育館やマンション建設、個人住宅の造園関係が好調のためかと思われる。
	変わらない	職業安定所（職員）	周辺企業の様子 ・事業所訪問では「大きな変化は見られないが、全般的には徐々に良い方向に向かっている」との答えが多かった。ただし、同業種内であっても格差は大きく、安定して維持していた業界でも閉鎖などがみられるため、全般的にやや良くなってきているという判断である。また、良い方向に向かうことを前提で統廃合を行い、さらなる合理化等を図るなど、無駄を省く意味での前向きな姿勢を検討している事業所もある。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き ・携帯電話のかなり細かい部品の組み立て等で募集の増加がみられた。ただ、電機関連は定着しているのか、ほとんど動きはなかった。住宅関連ではあまり増改築の着工等がみられなかったため、不透明である。衣料品関係は気温が低くなり寒さも厳しいことから若干良いように見受けられる。
		人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き ・採用の際、今まで以上に時間をかけ、慎重に人選をしている。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子 ・新規求人数は前年同月比で8月が9.2%減少と、これまで減少傾向で推移していたところ、9月になると同6.0%増加し、10月は同19.9%増となっている。一方、新規求職者数をみると、8月は前年同月比8.1%増、9月は13.0%増と増加傾向で推移していたところが、10月にきて同8.0%の減少となった。一見改善してきたようであるが、周辺企業に現況を聞くと、受注はあるものの先の見通しが立たない、先の受注が見込めないため非常に厳しい状況であるといった声が聞かれ、まだまだ動機的には変わらない状況である。
	変わらない	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き ・求人を含引する製造業において若干求人増加があるものの、派遣、契約社員等が増え、正社員には変化がない。
		学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き ・求人数は例年とあまり変わっていない。前期では最近求人がなかった企業からの求人も出ていたが、やはり企業としては専門学校生や高校生より大学卒業生の獲得を目指している。
やや悪くなっている		人材派遣会社（管理担当）	求職者数の動き ・求職者数が減っているため、派遣できる人材が減少している。
	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子 ・周辺企業は一部の企業を除き全般的には良くない。求人も求人広告の費用をかけてまで募集するところは少ない。これから12月に入り、パート、アルバイトの募集は季節的に若干増える。	

悪く なっている	-	-	-
-------------	---	---	---